

足利風

-ashikaga-fu-

2011
4月号
Vol. 13



足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ご案内☆

*特集！

*TOPICS

*私のボランティアことはじめ

*サークル紹介

*インフォメーション

*センターからのご案内

「足利人・木村半兵衛のちょっとといい話」

非戦の人・柏木義円(安中教会牧師)について、学生時代から調べていた。その時に見つけた…ちょっとといい話。閑話休題。

明治3年、横浜から米国に向かう船に、一人の旧幕臣が乗っていた。後日、島崎藤村の師となる木村熊二である。木村熊二是帰国すると、創立はされたものの衰微の極みにあった「東京キリスト教青年会」に、無給の主事として尽力し、その後約10年にわたり草創期の辛酸をなめ尽くした。その当時は「…ある日、一人で読書をしていたところ、そこへ家賃の請求を受け、余儀なくストーブを卖ったが、あまりに安くて閉口した…」といった有様だった。ところが、その木村熊二を助けた人物がいたことを、田村直臣が書いている～「銀座の裏通りに“YMCA”の横看板を掲げた木村熊二君は、自分のポケットから家賃を払っておったが…のち、木村半兵衛君が同情を表し、その家賃を助けられたことがあった…」。この木村半兵衛こそ、足利小侯の木村家4世当主である。明治20年両毛鉄道設立に貢献し、副社長。社長は東京経済雑誌社の田口卯吉。その姉・鐙子は木村熊二の妻である。

良き理想のもとに始められた運動も大多数は、その草創期の辛酸に耐えられずに消滅してしまう。が、いままさに灯が消えなんとする時に差し出された救いの手。

世の中、損得づくで出来ているようにみえるが、人の世を成り立たせ、人の道をつないで行くには“見るに見かねて”とか、“見て見ぬふりできぬ”とか、“損得ぬきで”とかいう、経済至上主義では決して割り切れぬものが、とても大事なものかもしれない。

(M生)



しだれ桜に思う(旧袋川)

柳沢邦夫

年々しだれ桜も広く知れ渡り、賑わいを見せている今日この頃になりました。

昨年はバスツアーもあり、大勢の人で土手沿いは長蛇の列になりました。市の観光課でトイレを何箇所か作りましたが、水を飲む所はなく、個人宅に行列ができました。これが、今年の課題の一つです。観光客から、俳句や短歌の箱を設置して、しだれ桜のイベントに！との提案がありました。しだれ桜が咲き終わると、上流に菖蒲が綺麗に咲き、本当に見事です。今年は株分けに挑戦したいと思います。それから、しだれ桜の木と木の間にアジサイがあります。旧袋川を花のラインに作り上げる案を実現できたら、すばらしいと思います。現在少人数で環境美化にチャレンジしていますが、広く足利市民の応援で夢の実現を果たしたいと思います。ボランティアを募り「花の町足利」をアピールしませんか？大勢の仲間と頑張りたいと思います。

足利市民活動センターの協力もいただきましたので、関心のある方、ぜひボランティアにご協力をよろしくお願ひします。連絡は活動センターへお願ひします。

「相手の心を汲み取れるような感受性を持つこと」

～桜井淳子～



職業をいくつか持っていることから、ボランティアを依頼する側とされる側、二つの立場で行ったり来たりしています。それぞれの立場で大切にしていることが一つずつ。

無報酬でお願いするからには、何かを掴んで帰ってもらいたい…育てるという視点でしょうか。そのボランティアをしたことで次に自分が学ぶべきことは何なのかが見えてくるような。

自発的な行為という本来の意味を大事にしたいので、他者が何かを望んでいるのかを自らに問いかけ、まだ声にはなっていない相手の心を汲み取れるような感受性を持つこと。



先日デイケアの利用者さんたちを前に踊っていました時、ふとこんなことを感じました。“私がおばさんになった時、誰かが同じようにして踊りを見てくれたなら幸せだな”と。その瞬間、私は自分が踊っているのか、踊りを見ているのかわからなくなつたような気がしました。とても不思議な感覚でした。

夢をみんなでかなえよう

特定非営利活動法人 かなえ

近年高齢化社会が進んでおり、高齢者が買い物や重たい荷物などを運ぶのに困難かと思われるなか、私達「かなえ」では、高齢者向けに買い物代行を NPO で実現できないか?と考えました。

買い物代行を NPO で行うにあたって、TV などの情報媒体で報道されているように、社会的弱者の方たちの安否確認も同時に行えると確信いたしました。

私達「かなえ」は 20 代から 30 代の若い仲間たちで構成されており、社会で問題視されている事柄を少しでも緩和できないか、と考えて活動を行っております。発足の経緯として、自分たちが数十年後の高齢者の立場に置かれたときに民間・行政を問わず、どのようなサービスがあれば老後も安心して暮らせるだろうか?と考えた結果、今ないサービスが数十年後には出来ているのではないか?などと楽観視できる情勢ではないと思い、仲間たちと民間・行政の枠にとらわれない NPO 活動を始めることにいたしました。

現在は日常家電製品(AV 機器、地デジ化、パソコンや携帯電話など)の使用方法やサポートなどの相談を活動の一環としてアドバイスしておりますので、お気軽にお声掛けください。まだ若輩者で至らぬことが多いですが、精一杯がんばりますので温かい目で見守っていただきたいと思っております。

① インフォメーション ②

☆ボランティアNPO茶論

いま、変革の時代の風の中で、ひとり一人の生きる姿勢が問われています。その中で、自立と共生へのさまざまな試みが、地域に根ざした市民の手で始まっています。多様性をはらんだボランティアNPO活動の輪も広がり深さを増しています。地域の課題に焦点をあて、協働による課題解決をめざして、共に学び・語り合う「ボランティアNPO茶論」を、素敵なゲストをお迎えして開催します。みなさんお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。

日 時：平成 23年 4月 17日(日) 午前 10時～12時
会 場：足利市民活動センター
内 容：テーマ「若者サポートステーションの現在とこれから」
講師 穴澤義明さん(北海道若者サポートステーション代表)
参 加 費：無料
定 員：50名(先着順)
問合・申込：足利市民活動センター (TEL: 44-7311)

☆みんなのしゃべり場～開催のお知らせ～

今回のしゃべり場は、4月2日(土) 足利市民活動センターの庭において「小山工業高等専門学校」の皆さんにご協力いただき、ロボットのデモンストレーション・体験を予定しています。詳しくは、チラシ・ホームページ等をご覧ください。

☆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンご協力のお願い

毎月11日がイオンデーです。その日の黄色いレシートをイオン(太田店)に設置してある「足利市民活動センター」のイエローレシートBOXに入れて頂ければと思います。

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場～4月・5月のご案内～

- * 押し花展(4月4日～14日)
- * 足利銘仙展(4月18日～5月2日)
- * 上村千嶂 小作品展(書)(5月9日～19日)
- * 「五・七・五の風」展(5月23日～6月2日)

☆相談室＆講座のご案内

- * 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照
- * 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

いよいよ新年度。もの覚えの悪い「ポンクラ」もだいぶ皆さんのお顔を覚えてまいりました。今年度はさらに皆さんにたくさんの情報を提供してお役に立てるよう勉強してまいります。これからもご支援をよろしく！ (ポンクラ)

“企画展のご案内”

期間	企画展名	出展者
4/4(月) ～4/14(木)	押し花展	田部井 静代さん
4/18(月) ～5/2(木)	足利銘仙展	橋本 晴男さん
5/9(月) ～5/19(木)	上村千嶂 小作品展(書)	上村 千嶂さん
5/23(月) ～6/2(木)	「五・七・五の風」展	村田 浩余さん

展示会場 足利市民活動センター 3階 みんなの広場
(足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311)

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝

“ 講座・相談室のご案内 ”

【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
4/13(水)	健康のためのレクリエーション	檜山 達夫さん (足利市レクリエーション協会 名誉会長)
4/27(水)	ボランティアのための 情報紙のつくり方	新楽 正さん (タウン誌編集・発行人)
5/11(水)	のびのび・のびのび子育て	大島 裕子さん (あしかが子育て応援ネット代表)
5/25(水)	助成金のとれる プレゼンテーション術	白田 明さん (プラン・ドゥ・アシスト代表)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター 2階 ワーキングルーム

【講座】

日付	講座名
4/21(木)	地域のみんなでツリーハウスをつくる 講師：江口 宏さん(足利の里山に学びを育ちあう会) 講師：新井街栄さん(足利の里山に学びを育ちあう会)
5/19(木)	子ども支援の現場～Yフェスから子どもの権利ネットまで～ 講師：新井 隆さん(あしかが子どもの権利ネット) 講師：三田和子さん(あしかが子どもの権利ネット)

時間 午後7時～午後9時

会場 足利市民活動センター 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎ 0284-44-7311)